

公益社団法人能楽協会九州支部 普及公演

クリスマス能

クリスマスに能・狂言をしてみませんか？



狂言

文荷

秋吉 英二

能

菊慈童

森本 哲郎

きくじどう

遊舞之楽

他、舞囃子・仕舞

2024年12月22日(日) 午後1時開演
(正午開場)

大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園1-5 / ☎092-715-2155

全席自由 一般 3,500円(当日4,000円)

学生 2,000円 ※当日学生証の提示が必要

◎未就学児のご入場はできません。

【チケット取り扱い】

- ローソンチケット Lコード 82988
- チケットぴあ Pコード 529-132
- 大濠公園能楽堂 092-715-2155

《事前講座》

12月10日(火) 18:30開演
(18:00開場／19:30終了予定)

会場／大濠公園能楽堂楽屋
(楽屋入口より入場いただけます。)

◎入場無料(どなたでも受講できます。)

主催：(公社)能楽協会九州支部
後援：福岡県、福岡市

(15:40頃
終了予定)

(14:40頃)

(13:30頃)

観世能流

菊慈童

慈童 森本 哲郎

遊舞之楽

勅使

坂苗

融

大鼓 小鼓

原岡 一之
古田 寛二

太鼓 笛

田中 相原

達彦

後見

多島 久島
多島 利之

地謡

今村 嘉太郎
山口 剛一郎
久保 誠一郎

今村 鷹尾

一夫 教弘

大狂蔵流吉

文荷

太郎冠者

秋吉

英二

主人 次郎冠者

洪田 川邊

昭典 宏貴

後見

河原

康生

(休憩二十分)

宝舞生流子

源氏供養

久貫

弘能

大鼓 小鼓

白坂 横山

保行 幸彦

笛

森田

光次

和狂言流

名取川

野村

万禄

地謡

吉良 吉住
上杉 啓太

博靖 講

金仕春舞

熊坂

田中

秀実

地謡

名和 櫻間
長承 右陣

三

喜仕多舞

和布刈

栗谷

充雄

地謡

狩野 大島

義彦 了恵

観世世流舞

山姥

キリ

木月

晶子

地謡

多島 久島
今村 嘉太郎

澄子 美貴

観世世流舞

花月

キリ

鷹尾

維教

地謡

井内 山口
政徳 剛一郎

章弘 弘

(解説)



【アクセス方法】

●地下鉄

「大濠公園」駅(3番出口)より徒歩7分

●西鉄バス

「大濠公園」または「黒門」バス停より徒歩4分

※能楽堂には駐車場がありません。
大濠公園内および近隣の有料駐車場を
ご利用ください。

【解説】

◆文荷

主人がこつけた文を召使いは竹に通して担いで歩いて行く。あまり重いので文を開けて読むと、恋しさの程を思わせ、海、山、小石の言葉をとくさん書いてある。重いはずじやと笑い、奪い合つて読むうちに文を引き裂いてしまう。風の便りということにして扇で煽ぎ語りながら戯れていると主人が見に来る。怒った主人は二人を追いかける。能『恋重荷』によそえた作品。恋文の相手についてはご想像にお任せします。

◆菊慈童・遊舞之楽(ゆうぶのがく)

魏の文帝に仕える廷臣が、勅命を受けて薬水の水源を探りに關山に赴く。その山奥の菊の咲き乱れた仙境に、慈童という童顔の仙人がいた。慈童は太古の周の穆王に仕えていた者だが、王の枕をまたいだ罪でこの山に流された。そのとき法華經の偈を枕に書いて賜ったので、その妙文を菊の葉にうつして流れに浮かべると、葉から滴るしずくが不老長寿の薬となり、それ以来慈童は数百年間、年をとらなかつたのである。慈童は勅使の前で樂しげに舞を舞い、帝に長寿を捧げて祝福の言葉述べた。慈童が足拍子を樂しげに踏む(楽)というテンポの舞がみせどころ。

